



## 平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 2 月 3 日

上場会社名 リオン株式会社  
 コード番号 6823  
 (URL <http://www.rion.co.jp/>)  
 代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 井上清恆  
 問合せ先責任者 役職名 取締役管理統括部長 氏名 清水健一  
 上場取引所 東  
 本社所在都道府県 東京都  
 TEL (042)359 - 7099

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 ・法人税等の計上基準、その他影響額が軽微なものにつき、一部簡便的な方法を採用しております。  
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

### 2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）

#### (1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 3 月期第 3 四半期	14,217	4.9	1,125	100.8	1,021	118.9	614	138.2
17 年 3 月期第 3 四半期	13,547	2.6	560	-	466	-	257	-
(参考)17 年 3 月期	18,540	2.9	828	20.9	672	23.8	354	0.3

	1 株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18 年 3 月期第 3 四半期	61	80	59	74
17 年 3 月期第 3 四半期	26	07	25	34
(参考)17 年 3 月期	33	23	32	31

(注) 売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

#### (2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
18 年 3 月期第 3 四半期	23,857	9,669	40.5	967	41
17 年 3 月期第 3 四半期	24,055	8,985	37.4	908	60
(参考)17 年 3 月期	23,543	9,110	38.7	918	74

### 3. 平成 18 年 3 月期の連結業績予想（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

(参考) 平成 18 年 2 月発表の業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	19,000	1,050	630

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 63 円 03 銭

\*上記業績予想は、平成 17 年 5 月 18 日の決算発表時に公表したものを修正しております。修正内容につきましては、本日発表しております「平成 18 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。なお、現時点で入手可能な情報にもとづき算出したものであり、実際の業績はさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

## [ 第3四半期連結業績に関する定性的情報等 ]

### 1. 経営成績

当連結会計年度第3四半期の販売概況につきましては、補聴器事業において、平成17年7月に発売した世界初の「防水型デジタルオーダーメイド補聴器」で当社の技術力をアピールするとともに、3月3日の「耳の日」に向けてテレビCMの放映を開始するなど、積極的な販売促進活動を行なってまいりました。また、8月に発売したデジタルオーダーメイド補聴器Uシリーズもお客様から好評を得ることができ、当四半期における販売も堅調に推移してまいりました。しかしながら、年末セールが催された12月に入ると、例年のない寒波が到来し、補聴器販売店への来店者数が著しく減少したため、前年同期実績を若干下回る売上高となりました。

医用検査機器事業におきましては、医療機関の設備投資意欲が停滞する中、積極的な市場掘り起こし策を実施してまいりました。その結果、大型聴力検査室や耳管機能検査装置などの売上が増加し、前年同期実績を大きく上回ることができました。

音響・振動計測器事業につきましては、騒音計・振動計が上期に引き続き好調な売れ行きを示しました。騒音計はコンサルタント会社による騒音測定需要に支えられ、レンタル業界への販売が順調に推移しました。振動計は既存製品が好調な売上高を示すとともに、機械振動が人体に与える影響を計測するソフトウェア製品の売上も徐々に増加してまいりました。また、地震計では、新幹線向け地震計の販売により売上高が増加しております。海外市場におきましても、騒音計・振動計が中国、韓国を中心に堅調な売れ行きを示し、音響・振動計測器事業全体で前年同期実績を上回ることができました。

微粒子計測器事業では、国内市場におきまして、電子デバイス関連産業での活発な設備投資が持続し、高額なシステム製品の売上は減少傾向にあるものの、最小可測粒子径0.1 $\mu$ mの光散乱式自動微粒子計測器などの販売により売上高が大きく増加いたしました。また、エンドユーザー向けに継続的に行ってまいりました、クリーン管理等に関する技術セミナーでのPR効果もあり、医薬・食品関連業界への売上高が増加傾向にあります。海外市場につきましても、上期に引き続き、韓国、台湾、中国を中心としたアジア市場で好調な売上を維持することができ、微粒子計測器事業全体では前年同期実績を大きく上回ることができました。

以上の結果、売上高は142億1,756万円（対前年同四半期比4.9%増）となり、営業利益は11億2,539万円（対前年同四半期比100.8%増）、経常利益は10億2,152万円（対前年同四半期比118.9%増）、四半期純利益は6億1,437万円（対前年同四半期比138.2%増）となりました。

### 2. 財政状態

当連結会計年度第3四半期末における資産の部は238億5,777万円となり、前連結会計年度末に比べて3億1,419万円増加しました。負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べて2億4,471万円減少し、141億8,841万円となりました。資本の部につきましては、主に利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べて5億5,890万円増加し、96億6,935万円となりました。

〔添付資料〕

## 1. (要約) 四半期連結貸借対照表

区分	前連結第3四半期末 (平成16年12月31日現在)		当連結第3四半期末 (平成17年12月31日現在)		【参考】前連結会計度末 (平成17年3月31日現在)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
<b>(資産の部)</b>						
流動資産						
1 現金及び預金	1,891,846		1,437,617		1,233,845	
2 受取手形及び売掛金	4,605,556		4,905,037		4,908,471	
3 たな卸資産	3,860,682		3,730,335		3,636,964	
4 その他	1,162,071		954,252		1,152,585	
貸倒引当金	12,189		38,145		81,993	
流動資産合計	11,507,967	47.8	10,989,097	46.1	10,849,873	46.1
固定資産						
1 有形固定資産	10,456,090		10,325,208		10,370,244	
2 無形固定資産	345,785		287,142		338,223	
3 投資その他の資産	1,747,112		2,264,870		1,993,782	
貸倒引当金	1,233		8,544		8,545	
固定資産合計	12,547,755	52.2	12,868,676	53.9	12,693,704	53.9
資産合計	24,055,722	100.0	23,857,773	100.0	23,543,578	100.0
<b>(負債の部)</b>						
流動負債						
1 支払手形及び買掛金	1,397,054		1,299,894		1,219,435	
2 一年以内償還予定社債	200,000		200,000		200,000	
3 短期借入金	2,786,363		2,639,136		2,338,994	
4 その他	1,051,583		1,049,738		1,508,863	
流動負債合計	5,435,001	22.6	5,188,769	21.8	5,267,292	22.4
固定負債						
1 社債	700,000		500,000		600,000	
2 長期借入金	4,378,500		3,876,430		4,003,102	
3 その他	4,556,784		4,623,214		4,562,732	
固定負債合計	9,635,284	40.0	8,999,644	37.7	9,165,834	38.9
負債合計	15,070,286	62.6	14,188,413	59.5	14,433,127	61.3
<b>(少数株主持分)</b>						
少数株主持分	-	-	-	-	-	-
<b>(資本の部)</b>						
資本金	1,194,400	5.0	1,211,383	5.1	1,194,400	5.0
資本剰余金	1,618,490	6.7	1,635,362	6.8	1,618,490	6.9
利益剰余金	3,056,626	12.7	3,613,282	15.1	3,152,763	13.4
土地再評価差額金	3,036,599	12.6	3,036,599	12.7	3,036,599	12.9
その他有価証券 評価差額金	85,493	0.4	180,781	0.8	114,077	0.5
為替換算調整勘定	533	0.0	913	0.0	5	0.0
自己株式	5,640	0.0	8,963	0.0	5,886	0.0
資本合計	8,985,436	37.4	9,669,359	40.5	9,110,450	38.7
負債、少数株主持分 及び資本合計	24,055,722	100.0	23,857,773	100.0	23,543,578	100.0

2.(要約)四半期連結損益計算書

区分	前連結第3四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)		当連結第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		【参考】前連結会計年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)	
	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
売上高	13,547,804	100.0	14,217,568	100.0	18,540,848	100.0
売上原価	7,691,409	56.8	7,805,224	54.9	10,529,623	56.8
売上総利益	5,856,394	43.2	6,412,344	45.1	8,011,225	43.2
販売費及び一般管理費	5,295,970	39.1	5,286,950	37.2	7,183,101	38.7
営業利益	560,423	4.1	1,125,393	7.9	828,124	4.5
営業外収益						
1 受取利息 及び受取配当金	17,540		16,717		21,431	
2 その他	91,020		78,682		125,439	
営業外費用						
1 支払利息	93,683		74,946		121,259	
2 その他	108,718		124,325		181,196	
経常利益	466,581	3.4	1,021,520	7.2	672,541	3.6
特別利益	2,143		43,915		1,504	
特別損失	6,461		9,104		21,605	
税金等調整前 四半期(当期)純利益	462,263	3.4	1,056,331	7.4	652,439	3.5
税金費用	204,391	1.5	441,958	3.1	298,430	1.6
四半期(当期)純利益	257,872	1.9	614,372	4.3	354,008	1.9